

「郡市教育・研究助成」を生かした 特色ある教育活動

本法人は、三河の教育の充実・向上を図るために、学校の現職研修や郡市の教育活動等に助成を行っています。

つなぎ合い、高め合う

「教室」コミュニティ

幸田町立荻谷小学校

校長 岡 本 智



荻谷小学校は、幸田町の中央部にあり、児童数300人余り。自慢は、樹齢100年を超える「ヤマモモ」の大木と全面芝生の運動場です。毎年9月には、全校児童で芝を刈り芝生アートを完成させます。また、本校は、主体的・協同的な学びを主題として授業研究を積み重ねてきま

した。その基盤となるのが、互いの成長を認め合い、学ぶ喜びを感じられる「教室コミュニティ」だと考えます。では、幾つかの実践例を紹介します。

ハッピー グリーン プロジェクト①

今年も6年生が総合的な学習の時間に、7つのプロジェクトを展開しています。これは、チームごとで「みんなをハッピーな気持ちにする」活動を計画・運営するものです。全校レク、昼の放送でのクイズなどに加え、今年ならではの企画も見られます。「ハッピーグリーンの家」チームは、緑の妖精に扮した6年生が、休み時間に全校児童を招き、ゲーム大会や読み聞かせなどの活動を行っています。

ハッピー グリーン プロジェクト②

12月、「ハッピー給食」チームが行った、今年度2回目の縦割り給食は、普段の縦割り班ではなく、くじ引きで班を編成しました。初めての挑戦に6年生は、緊張感をもって当日に臨み、会場づくりや雰囲気盛り上げるサイコロトークの準備など、それぞれの教室で独自の工夫が見られました。一方、なかなか会話がつながらない班もあり、全校の課題として、今後引き続きいきたいと思います。

ワンチームカード

2学期のまとめとして執行委員会から呼びかけられた「荻谷小、ワンチームカード」には、学校を一つにするための願いが込められており、「一人である子に話しかけた」など、チームの輪を広げるための点検項目が示されています。もつと「ハッピー」を目指して、今後も実践を積み重ねていきます。

本校では、こうしたプロジェクトの意義を、「相手や目的に応じて、自分にできることを考える力」を育み、「仲間と協同して課題を解決し、実践する力」を高めるものと考えています。また、成功体験を増やし、達成感を味わったり、自己肯定感を高めたりすることも期待できます。6年生は、試行錯誤の中で、やりがいを感じ、「もつとこうありたい」と自分自身を見つめ直すことができます。頑張った6年生にとつて、下級生の笑顔が何よりのご褒美です。このチャレンジ精神と振り返りの力が、「社会をたくましく生き抜く力」につながるものと確信しています。



ハッピー グリーン プロジェクト①